

総括

県内中小企業の経営状況は、厳しい状況が続いているものの、持ち直しの動きが見られる。

今後については、持ち直しの動きが続く見込みである。

経営者の景況感D Iは2期ぶりに改善し、来期も改善する見通し。

売上げD Iは4期ぶりに悪化したが、来期は改善する見通し。

資金繰りD Iは4期連続で改善し、来期も改善する見通し。

採算D Iは2期ぶりに改善し、来期も改善する見通し。

設備投資の実施率は2期連続で低下し、来期も低下する見通し。

注1) 本文中の各D I値については、例えば「増加した」企業割合と「減少した」企業割合を四捨五入して表記しているため、±0.1の範囲で差異が生じることがある。

注2) 「前期」：平成21年10～12月期、「当期」：平成22年1～3月期、「来期」：平成22年4～6月期

1 経営者の景況感と今後の景気見通し

景況感D Iは 85.1で2期ぶりに改善。来期も改善する見通し。

業種別にみると、製造業、非製造業ともに2期ぶりに改善した。

<景況感D Iの推移>

	当 期	前 期	前年同期
全 体	85.1	90.4	91.3
製 造 業	84.0	90.8	92.5
非製造業	85.9	90.1	90.2

<「良い方向に向かう」と回答した割合>

	当 期	前 期
全 体	4.9%	2.0%
製 造 業	7.5%	2.8%
非製造業	2.9%	1.5%

<「悪い方向に向かう」と回答した割合>

	当 期	前 期
全 体	39.6%	56.9%
製 造 業	31.4%	48.8%
非製造業	45.6%	62.5%

2 売上げについて

売上げD Iは 39.5で4期ぶりに悪化。来期は改善する見通し。

業種別にみると、製造業、非製造業ともに4期ぶりに悪化した。

来期については、製造業、非製造業ともに、当期の売上げD Iを上回る見通しである。

<売上げD Iの推移>

	当 期	前 期	前年同期	来期見通し
全 体	39.5	35.2	69.8	21.8
製 造 業	26.4	22.5	76.6	8.2
非製造業	49.0	44.0	64.0	31.6

3 資金繰りについて

資金繰りD Iは 37.9で4期連続で改善。来期も改善する見通し。

業種別にみると、製造業は4期連続で改善し、非製造業は2期ぶりに改善した。

来期については、製造業、非製造業ともに、当期の資金繰りD Iを上回る見通しである。

<資金繰りD Iの推移>

	当 期	前 期	前年同期	来期見通し
全 体	37.9	42.6	59.5	30.6
製 造 業	31.2	37.3	65.2	25.6
非製造業	42.8	46.2	54.6	34.3

4 採算について

採算D Iは 48.6で2期ぶりに改善。来期も改善する見通し。

業種別にみると、製造業は4期連続で改善し、非製造業は2期ぶりに改善した。来期については、製造業、非製造業ともに当期の採算D Iを上回る見通しである。

<採算D Iの推移>

	当 期	前 期	前年同期	来期見通し
全 体	48.6	52.6	71.4	36.1
製 造 業	42.2	45.6	77.5	27.8
非製造業	53.2	57.4	66.3	42.1

5 設備投資の動向について

実施率は14.9%で2期連続で低下。来期も低下する見通し。

業種別にみると、製造業は2期連続で低下し、非製造業は2期ぶりに低下した。来期については、製造業は上昇する見通しであるが、非製造業は低下する見通しである。

<設備投資の実施率>

	当 期	前 期	前年同期	来期見通し
全 体	14.9%	15.1%	12.9%	12.9%
製 造 業	15.7%	17.4%	15.4%	16.6%
非製造業	14.3%	13.6%	10.8%	10.2%

6 ヒアリング調査の概況（詳しくは13頁以降をご覧ください）

景 況 感

製 造 業：厳しいながらも持ち直しの動きが続いている

小 売 業：悪化している

情報サービス業：悪化が続いている

建 設 業：悪化が続き、厳しい状況となっている

企業の声

「先が読めない状況であるが、上向いていることは間違いない」（電気機械器具）

「今年に入り新たな見積もり依頼が来るようになった。良い方向に向かうのではないか」（プラスチック製品）

「コロッケの具を国産に替え、値段を引き上げたところ、二桁の伸びになった」（スーパー）

「他の業種よりも悪くなるのが遅かったので、まだこれから悪くなるのではないか」（情報サービス業）

「業として限界に近い。価格低下が止まらず、どうにもならない」（建設業）

7 特別調査事項結果の概況 「新規学卒者の採用予定について」

（詳しくは20頁以降をご覧ください）

平成22年4月に新規学卒者を採用する県内中小企業は、全体としては11.4%であり、前年と同じ過去最低の数値となった。

製造業は15.8%で前年比1.8ポイント上昇、5年ぶりに増加したものの、非製造業は8.2%で前年比1.0ポイント低下、2年連続で減少した。

前年と比べた採用人数は、38.0%の企業が「増えた」としており、前年調査結果よりも3.6ポイント増加した。

「増えた」と回答した企業は、製造業が38.4%で前年比5.8ポイント増加し、非製造業（37.3%、前年比0.7ポイント増加）に比べ増加幅が大きかった。